

# 学びの「深さ」を再考する

## —ディープ・アクティブラーニングを実現するために—

近年、日本語教育の現場では「アクティブラーニング」への関心が高まっています。しかしながら、「アクティブな学び」と「深い学び」とを両立させることの難しさを感じている方が多いのではないのでしょうか。両者を両立させて「深い」アクティブラーニングを実現するために、本研修では、まず講演で「学びの深さ」に関する理論的背景を学びます。その後、ワークショップで実際に「アクティブで深い学び」を体験します。「深く学ぶ」とはどういうことか、深く学べたかどうかはどのように評価できるのか、言語教育や日本語教育において育成すべき能力はどのようなものかということ、参加者同士の対話の中で追求していきます。

\*\*\*\*\*

8月22日  
 締切

**日時:**2016年9月3日(土)13時~17時

**会場:**東京大学 駒場 I キャンパス 21KOMCEE West K303

京王井の頭線 駒場東大前駅下車 [地図・アクセス](#)

**講師:**松下 佳代 氏 (京都大学高等教育研究開発推進センター 教授)

**コーディネーター:**宇佐美洋・杉原由美・倉本文子(教師研修委員)

**対象:**学習者同士の相互活動を通じた日本語教育(言語教育)に関心のある方

「学ぶ」ということの意味を改めて考え直してみたい方

(すぐに使えるアクティブラーニングの「手法」をお伝えする研修ではありません)

**定員:**40名

**受講料:**一般 3,000 円 / 日本語教育学会会員 2,000 円 ※学生料金はありません

**参考文献:**松下佳代編著(2010)『<新しい能力>は教育を変えるか—学力・リテラシー・

コンピテンシー』ミネルヴァ書房

松下佳代他編著(2015)『ディープ・アクティブラーニング—大学授業を深化させるために』勁草書房

松下佳代・石井英真編著(2016)『アクティブラーニングの評価』東信堂

**内容:**予定のため変更することがあります

13:10-14:20	講演「深い学びとは？」
14:30-17:00	ディープ・アクティブラーニング体験ワークショップ

### ~講師からのメッセージ~ 松下 佳代 氏

アクティブラーニングは、講義を聴く以上の能動的な学習への参加(例えば、読む、議論する、書くなど)を取り入れた教授・学習法の総称とされます。それだけならば、四技能の学習を含む日本語教育では、以前からアクティブラーニングをやっているということになりそうです。ですが、深いアクティブラーニングとなるとどうでしょう? 学生たちは、言葉を通じて、対象世界を、他者を、そして自分自身を深く学ぶ経験をしているのでしょうか? どうすればそれが可能になるのか、ともに考える機会にできれば、と思っています。



**<専門分野>** 教育方法学(能力論, 学習論, 評価論)、大学教育学。人はいかにして学ぶのか、能力はどう形成され評価されるのかに関心をもち、初等・中等教育と高等教育の共通性と差異に着目しながら、高校や大学の現場に入って実践的・理論的研究を進めています。

### ◆申込方法◆

参加申込書は次ページにあります。メール添付またはFAXでお送りください。

記入用にワードファイルが必要な方は下記問合せ先までご連絡ください。メール応募の場合、**題名は「9月3日学びの深さ申込」として**ください。申込書が到着次第、折り返しメールで受講料の振込先等をご連絡します。締切は8月22日

(月)、定員になり次第、締切前でも募集を終了します。

### <注意事項>

申込書送付後に1週間以上たっても学会からの返信メールが到着しない場合は、書類未着の可能性がございますので、必ずご自身の責任においてご確認ください。事務局は平日9~18時の対応で週末や夜間の対応は翌日以降となります。

なお、参加申込書の個人情報は本研修の実施以外の目的には使用いたしません。また、参加申込書は返却しません。

### ◆申込および問合せ先◆

公益社団法人 日本語教育学会  
 教師研修委員会事務局

E-mail : kyoshikenshu@nkg.or.jp

TEL : 03-3262-4291 FAX : 03-5216-7552  
 〒101-0065

東京都千代田区西神田 2-4-1

東方学会新館 2F

【日本語教育学会教師研修委員会宛】メール kyoshikenshu@nkg.or.jp FAX 03-5216-7552

「学びの深さを再考する」(2016年9月3日) 参加申込書

氏名	(漢字) (ローマ字)
所属・職名	所属: _____ 職名(学生は学年): _____
種別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 日本語教育学会会員 [No. _____]
住所	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場
電話	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 携帯
FAX	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> なし
E-mail 携帯アドレス不可	※連絡の基本はEメールとなりますので、間違いがないかご確認ください。
日本語教育または 言語教育活動経験	( )年 主な機関 ( ) 主な対象 ( )
1. 受講動機を簡単にお書きください。 ※文字数等は問いませんが応募用紙全体がA4, 1枚に収まるようお願いいたします。	
2. アクティブラーニングについて、該当するものに☑をつけてください <input type="checkbox"/> (1) 今まで知らなかった <input type="checkbox"/> (2) 目にしたり聞いたりしたことがある <input type="checkbox"/> (3) 実施したことがある <input type="checkbox"/> (4) その他 ( )	
3. 深い学習(ディープ・アクティブラーニング)について、該当するものに☑をつけてください <input type="checkbox"/> (1) 今まで知らなかった <input type="checkbox"/> (2) 目にしたり聞いたりしたことがある <input type="checkbox"/> (3) 授業が深い学びになるよう心がけている <input type="checkbox"/> (4) その他 ( )	
4. 授業の中で学習者同士の相互活動をどのように取り入れていますか。該当するものをすべてに☑をつけてください。 <input type="checkbox"/> (1) グループワーク <input type="checkbox"/> (2) グループディスカッション <input type="checkbox"/> (3) ペアワーク <input type="checkbox"/> (4) 相互評価 <input type="checkbox"/> (5) その他 ( )	
5. この研修コースを何で知りましたか。該当するものに☑をつけてください。 <input type="checkbox"/> (1) 学会からのメール <input type="checkbox"/> (2) その他からのメール ( ) <input type="checkbox"/> (3) 学会ホームページ <input type="checkbox"/> (4) 学会からのチラシ <input type="checkbox"/> (5) 学会誌『日本語教育』 <input type="checkbox"/> (6) 友人・知人 <input type="checkbox"/> (7) 大学・日本語学校等機関 ( ) <input type="checkbox"/> (8) その他 ( )	
6. 当日研修の様子を記録・広報等の使用目的で写真撮影をいたします。 該当するものに☑をつけてください。 → 記録・広報用の写真に写ることを <input type="checkbox"/> 承諾する <input type="checkbox"/> 承諾しない	